

様式第4号（第11項関係）

西脇市審議会等の会議の記録

審議会等の名称	西脇市地域福祉計画推進会議
開催日時	令和6年2月15日（木）午後1時30分～2時
開催場所	西脇市役所 市議会委員会室
出席委員の氏名又は人数（敬称略）	谷口泰司、牛居義晴、久米敏正、大橋正子、坂本修三、吉田昇、岡野雅代、高瀬利明、村上典正、藤井志帆、藤原恵美子、岡原怜子、小西孝樹、齋藤周藏、中村壮志、丸山善彦
欠席委員の氏名又は人数（敬称略）	伊達恵一、神部一哉、中嶋弘美、大西幹文
出席職員の職・氏名又は人数	福祉部 部長 伊藤景香 社会福祉課 課長 正木万貴子 社会福祉課 職員 長井隼也
傍聴人の数	0人
協議又は協議事項	(1) 西脇市地域福祉計画の進捗状況について (2) 次期計画策定に向けたスケジュール（案）について
会議の記録	
発言者	内 容
事務局	1 開会 委員の出席は16名、傍聴者はなし 交代委員紹介
会 長 事 務 局 会 長	2 あいさつ (資料確認) 議事録署名人の指名 齋藤会長と藤井志帆委員に決定
会 長	3 協議事項 (1) 西脇市地域福祉計画の進捗状況について、事務局から説明願う。
事務局	(事務局より資料説明)
会 長	事務局から説明があったが、何か質問はあるか。

会 長	<p>ないようなので、次に協議事項(2)次期計画策定に向けたスケジュール（案）について、事務局から説明願う。</p> <p>（事務局より資料説明）</p>
事務局	<p>説明は終わったが、質問や意見がある場合はどうぞ。</p>
委 員	<p>事務局の報告を聞いて、スムーズに事が進んでいるように受けとめており、福祉部・社会福祉課の他、関係各課の御苦勞に敬意を表しているところである。</p> <p>ただ、このスケジュールで計画通りやっていきますということで、この難しい社会福祉という行政事業が、スムーズに行っているのかということに疑問を感じる。</p> <p>この報告とスケジュールを聞く限りは問題なく、次のスケジュール次の計画、次のアンケートというふうに事が進んでいくと思われるが、市民3万8千人の中に困った方が本当にいるのかということが、どこにも出てこないように、全てがうまく行っているように報告上では見えるが、今後のスケジュールの途中でチェックが入るのかという懸念がある。</p> <p>スケジュール通りやっていたら良いのかという素朴な疑問である。</p>
事務局	<p>市民アンケートの結果から読み取ると、やはり市民の方には感じておられない部分があって、CやDの評価も確かにある。</p> <p>担当課としては、取組は計画通り進んでいるところではあるが、やはりそれが届いてないというのは、現状にアンケートとして結果が出てきており、行政としては課題であると感じている。</p> <p>そのところをどうしていくのかというところは、これからも検討していかないといけないと感じている。現計画の評価についても、来年度実施するアンケートでどういう結果が出てくるかわからないが、そこから見えてくる課題については、次の計画に反映できるような体制を整えたいと思う。</p>
委 員	<p>了承した。今後も抜け落ちがないよう拾っていく姿勢を続けていただきたい。</p>
委 員	<p>資料の5ページと15ページに障害者に関することが掲載されてお</p>

	<p>り、15ページでは、評価はAとされている。定期的に情報を更新し、窓口や手帳取得者に配付した他、関係機関にも配布し、情報の周知を図ったということで、今後も関係機関や各課と連携をとり、必要な情報の追加等を検討していくということであるが、これらの情報は、どの程度や範囲まで発信されているのか回答いただきたい。</p>
事務局	<p>15ページに記載の障害者福祉のしおりは、障害者手帳をお持ちの方には、一度渡しており、毎年発行をしている。</p> <p>障害のある方に関わる医療費の軽減や交通機関の割引制度からサービスの情報など、様々な内容で、毎年作成しているが、毎年全員に冊子で配付するのは難しい状況があったので、今年度から市のホームページにも掲載しており、情報を取得していただける。</p>
委員	<p>今回の能登半島地震のように相当な地震が起きた場合、障害のある方を誰がどうやって助けるのか。今日の会議ではあまり必要のないことかもわからないが、各町の区長や民生委員が、障害者を把握できているということに理解している。</p> <p>3日ほど前に、今回のような災害が起きたとき、どうすればいいのかを知的障害の方とその親御さんと話をする機会があった。</p> <p>今までは、そういう計画素案が個人に回ってこないということがあった。自主防災組織の方の話ではないかとは思いますが、今後どういう予定で進めていくのか。</p>
事務局	<p>災害時の避難計画であると思うが、資料では、安心につながる環境づくりで30ページに、避難支援体制の構築という項目がある。</p> <p>要援護者と言われる避難に支援が必要な方は、障害のある方や高齢者で、個別に福祉の専門職等の方にも協力をいただきながら、個別避難計画の作成に向けて取り組んでいるところである。</p> <p>現在こちらはC評価であるが、令和7年度末までには82件の計画が策定できるように目標を定めて、社会福祉課と長寿福祉課の方で今取り組みを進めているところである。</p> <p>また、自主防災会とも連携した訓練についても進めていきたいと考えている。</p>
委員	<p>私は知的障害者とその保護者の団体のものであるが、先ほど話にもあったように、災害に不安を抱えておられる方が多く、また団体</p>

	<p>に入っている方も高齢化が進んでいる。</p> <p>そこで、もし災害が起きた場合に、健常な方と一緒に避難場所にいるということは、すごく現実的でないというか、子どもによっては重度の方もいるので、少しの音でも敏感に反応してしまい走り回る、奇声を上げるなど、そのような状態になるお子さんがいるので、親御さんとしてはすごく気を使われるところである。</p> <p>そのため、先ほどの個別に避難計画を立てるということは本当にありがたいことだと思うし、何人もの親御さんからそうしてほしいということを知っているところである。</p> <p>そしてまた、今回能登半島で起こった震災のことをテレビで見ていると、やはり障害を持った方の保護者が、同じように話をされていたので、障害を持った方の立場、保護者の立場を考えると、どなたも一緒にさあ避難しましょうではなく、個別にそういう場を設けていただくことが一番良いと考える。</p>
会 長	<p>他になければ、以上で本日予定していた協議事項はすべて終了となる。</p> <p>委員には、円滑な会議の運営に協力いただき感謝申し上げます。</p>
事務局	<p>今後の予定は、協議事項にあるように来年度は2回の会議を予定している。</p> <p>次回の会議では、市民アンケート及び団体アンケート調査の項目について協議をいただきたいと考えている。</p> <p>なお、委員の任期は今年の7月31日までとなっているが、事務局としては引き続き、現委員の皆様へ就任いただきたいと考えている。</p>
委 員	<p>また話は戻るが、今後アンケートを取るということであるが、前回の有効回答率で、ボランティア団体が45%とあるが、他のアンケートに比べてどうなのか。半数に満たないというのは、市民の意識としてどうなのか。</p>
事務局	<p>他のアンケート結果を今持ち合わせていないが、総合計画など市の市民アンケートから比べると、高い方であるという認識である。</p>
会 長	<p>4 閉会</p> <p>それでは以上をもって本日の会議を終了とする。</p>